

# 『ユニオンファンド』

## 第6期 運用報告書 (決算日 2014年9月30日)

〔 2013年10月1日から  
2014年9月30日まで 〕

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式 ファンド・オブ・ファンズ
信託期間	原則として無期限
運用方針	個人家計の「資産形成」を支援する目的で、 「期待収益率が高い」と思われる資産に積極 投資をします。
主要運用対象	国内外の株式を投資対象とする投資信託証 券を投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券への投資割合には制限を 設けません。 ②同一銘柄の投資信託証券への投資割合 には制限を設けません。 ③外貨建資産への投資には制限を設けま せん。 ④株式への直接投資は行いません。 ⑤デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	毎決算時、収益分配方針に基づいて分配 を行います。分配金額は、委託会社が基準 価額水準、市況動向等を勘案し決定しま す。ただし、委託会社の判断により分配を行 わないことがあります。

### 受益者のみなさまへ…

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております『ユニオン  
ファンド』は、2014年9月30日に第6期の決  
算を行いました。ここに期中の運用状況をご報  
告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお  
願い申し上げます。

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

**ユニオン投信株式会社**  
業務管理部/コンプライアンス室  
TEL : 0263-38-0725

受付時間 : 営業日の午前9時～午後5時  
ホームページ : <http://www.unionam.co.jp/>



Union Asset Management Inc.  
**ユニオン投信株式会社**

〒390-0815  
長野県松本市深志一丁目1番21号  
中田歯科ビル5F

## ■最近5期の運用実績

決 算 期	基準価額 (分配落)	税 込	期 中	投資証券・ 投資信託証券 組入比率	純資産 総 額
		分配金	騰落率		
	円	円	%	%	百万円
2期 (2010年 9月30日)	13,160	0	4.7	97.0	865
3期 (2011年 9月30日)	11,038	0	△16.1	97.1	972
4期 (2012年10月 1日)	12,529	0	13.5	89.4	1,391
5期 (2013年 9月30日)	17,852	0	42.5	85.5	2,193
6期 (2014年 9月30日)	20,291	0	13.7	75.8	2,926

(注1) 基準価額は1万口当たり。騰落率は前期末比。

(注2) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク (参考指数) が存在しないため、上記には市況を併記してありません。

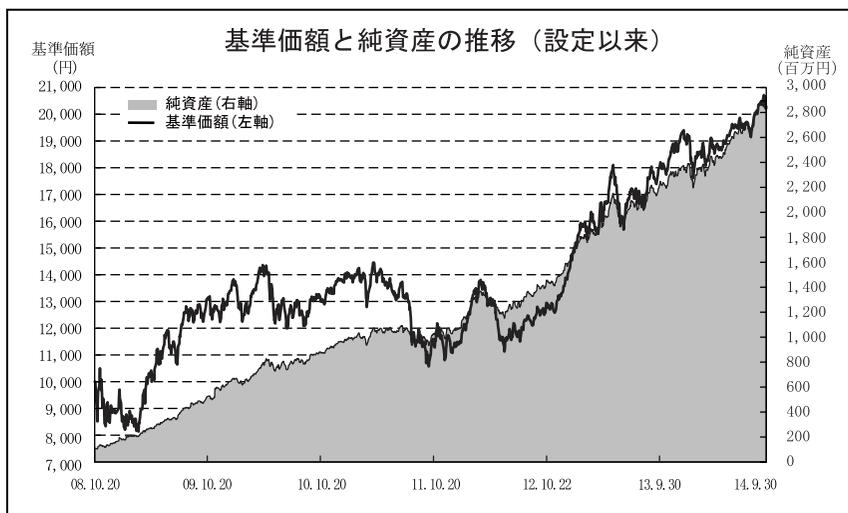
## ■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		投資証券・ 投資信託証券 組入比率	純資産総額
	騰 落 率			
(期 首)	円	%	%	百万円
2013年 9月30日	17,852	—	85.5	2,193
10月末	18,118	1.5	85.4	2,235
11月末	18,758	5.1	86.3	2,307
12月末	19,295	8.1	87.2	2,361
2014年 1月末	18,152	1.7	84.8	2,260
2月末	18,555	3.9	83.9	2,348
3月末	18,572	4.0	83.0	2,378
4月末	18,658	4.5	81.7	2,431
5月末	19,186	7.5	80.8	2,546
6月末	19,469	9.1	79.8	2,627
7月末	19,679	10.2	78.5	2,710
8月末	20,078	12.5	77.5	2,821
(期 末)				
2014年 9月30日	20,291	13.7	75.8	2,926

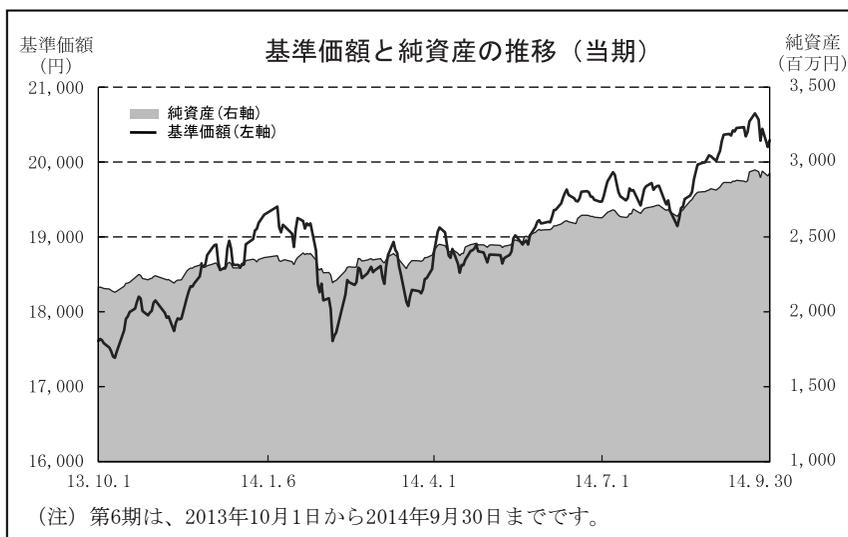
(注1) 基準価額は1万口当たり。騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク (参考指数) が存在しないため、上記には市況を併記してありません。

## ■設定以来の運用状況



## ■当期の運用状況



## ■ファンドの基本運用方針

当ファンドは個人家計の「資産形成」を支援する目的で、以下の方針により「期待収益率が高い」と思われる資産に積極投資します。

- ①「株式」に特化します。
  - ・長期投資では「株式」が債券を上回るパフォーマンスをあげており、今後も長期的には「株式」の収益率が債券収益率を凌駕するものと考えます。
- ②「グローバル」な視点で投資します。
  - ・「グローバル」に投資することで、世界の経済成長を享受することができると考えます。
- ③実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します。
  - ・長期間にわたりインデックスを上回る「アクティブ」ファンドが少数ですが世界に点在します。
  - ・投資に当っては、「長期投資」の考え方が確立・実践されており、相対的パフォーマンスが良好なファンドを厳選します。
- ④「バイ&ホールド」を基本としますが、割高時には現金比率を高め、割安時での買い増しにも備えます。

## ■当期の運用環境

(1) 2013年10月～2014年1月：株価上昇基調のあと、1月に入り下落局面へ

「日米欧」市場：

- ・日米欧の中央銀行が「超金融緩和政策」を継続。一方企業業績も改善し株価は上昇
- ・1月に入り、米国が「超金融緩和を縮小する」動きに。米国寒波等の影響も表われ株価は下落へ

「新興国」市場：

- ・中国中心に景気低迷が続き、株価はジリ安で推移
- ・1月以降は米国金融引き締め観測を受け、「脆弱な新興国」から資金が流出し、株価は下落局面に

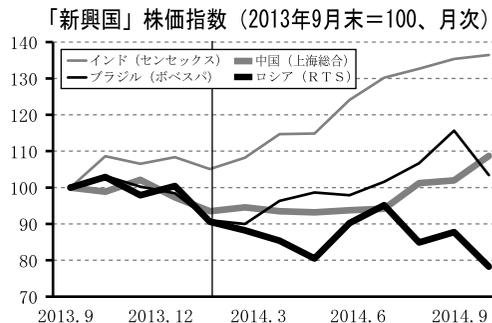
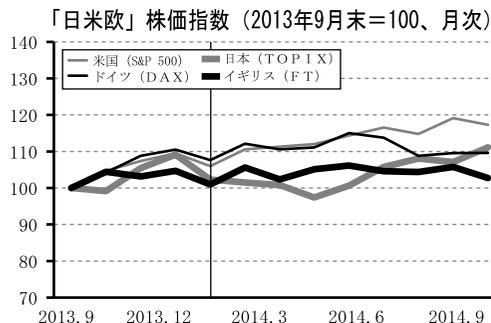
(2) 2014年2月～2014年9月：日米欧はジリ高基調、新興国はまちまちな動き

「日米欧」市場：

- ・景気回復が顕著な米国市場は一本調子に株価上昇
- ・景気回復期待から上昇基調にあった欧州市場は、7月以降ドイツを中心に「対露経済制裁」の悪影響やデフレ懸念などから調整局面に
- ・低迷していた日本市場はアベノミクス「第3の矢」への期待、ドル高進行などを受け株価上昇

## 「新興国」市場：

- ・中国・・・不動産バブル崩壊懸念・景気低迷などから株価軟調。その後は景気対策への期待・株価割安感などから徐々に上昇
- ・インド・・・景気低迷下の中でインフレ対策が進み、また新政権への改革期待も強く、大量の資金流入から株価急上昇
- ・ブラジル・・・景気低迷・インフレ進行にもかかわらず政権交代期待から株価上昇。しかし後半は息切れ
- ・ロシア・・・ウクライナ問題発生により資金流出が強まり、株価軟調



## ■当期の運用状況

当期は13.7%の運用実績となりました。

各市場の当期収益率は次の通りです。

(ユニオンファンドでは為替ヘッジをしていません)

日本市場 (TOPIX) : 9.8%

欧米市場 (MSCIロコソイ) : 円ベース22.5%

新興国市場 (MSCIエマージング) : 円ベース12.8%

世界市場 (MSCIホールカントリー) : 円ベース20.3%

(円ドル相場 : 12.0%)

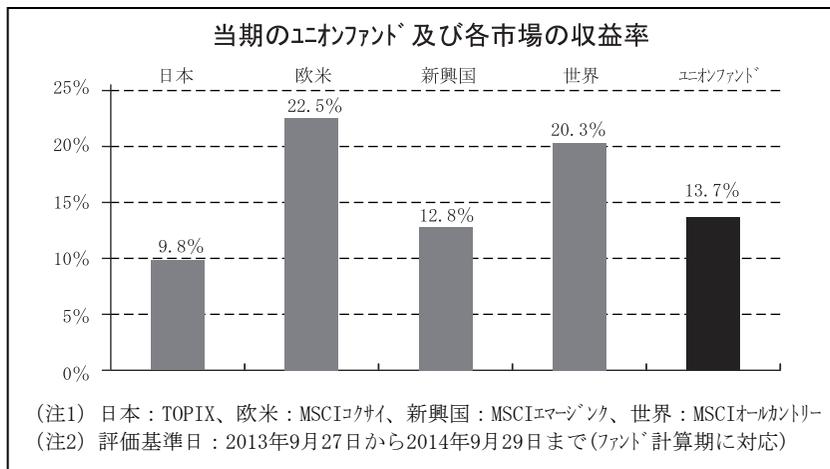
期末現在の地域別「組入比率」及び「株式時価総額比率」は次の通りです。

「組入比率」 : 日本11%、欧米30%、新興国35%、キャッシュ24%

「株式時価総額比率」 : 日本7%、欧米63%、新興国30%

当期の三地域別実績は、欧米市場が安定した上昇から最大となり、新興国市場が次に続きました。日本市場は9.8%と低めでしたが、海外市場が通貨上昇により約12%嵩上げされていることを勘案すればまずまずと思われま

ユニオンファンドの実績は世界市場を下回りましたが、新興国の組入比率を高めに行っていること、及び欧米の組入比率を低めにしていることがその要因と言えます。

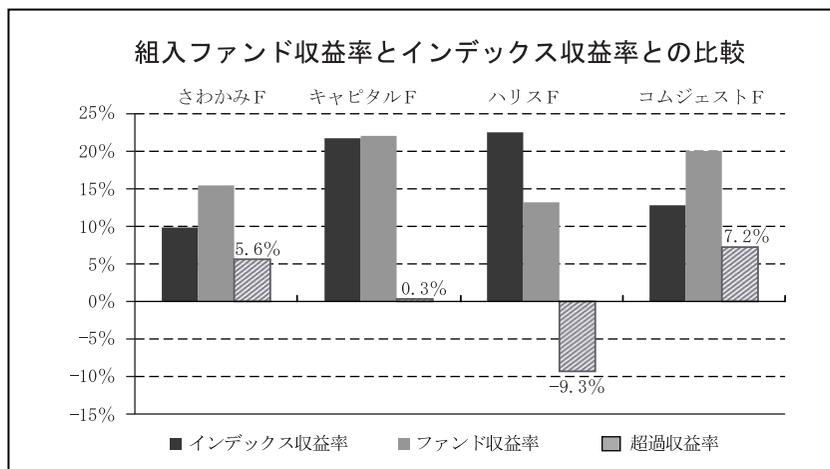


一方、組入ファンドとインデックスとの収益率比較では、「さわかみF」と「コムジェストF」がインデックスを大きく凌駕しました。

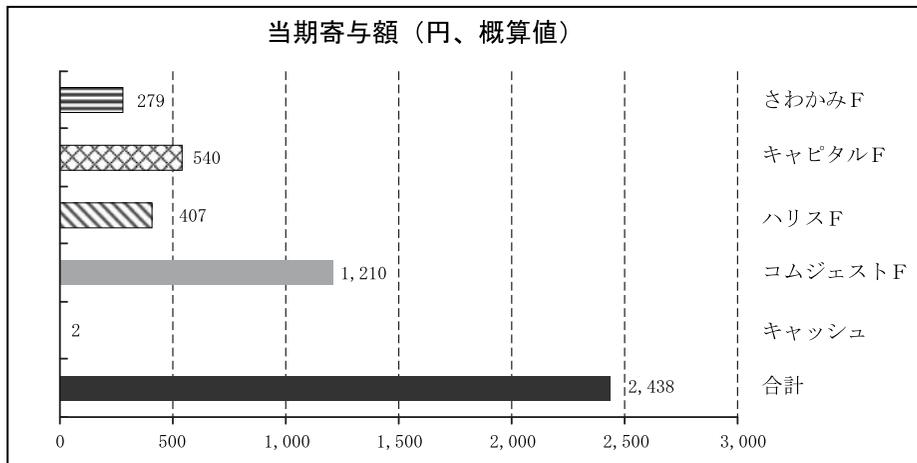
「ハリスF」は超過収益が▲9.3%と不調でしたが、前期好調（同+19.2%）の反動、株価過熱による割安銘柄の減少などが背景と言えます。

期末現在のファンド別「組入比率」：

・・・さわかみF 10.4%、キャピタルF 14.2%、ハリスF 16.2%、コムジェストF 35.1%



組入ファンド別の当期の基準価額寄与額は次のグラフの通りです。



組入比率は徐々に低下しました。

- ・ 期末の組入比率は「75.8%」となり、期初の組入比率「85.3%」に比べ「9.5%」低下しました。  
 将来の収益に比べ株価が割高になっていると判断し、通期にわたり新規買付を行わなかったことによるものです。

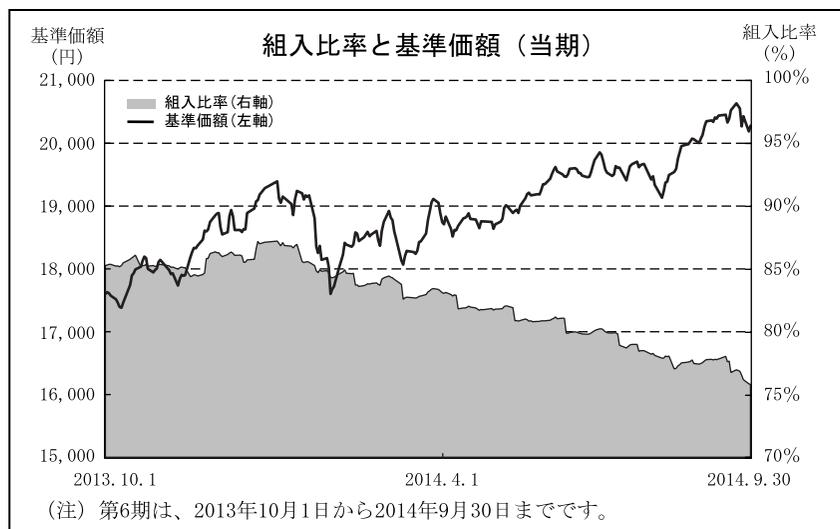
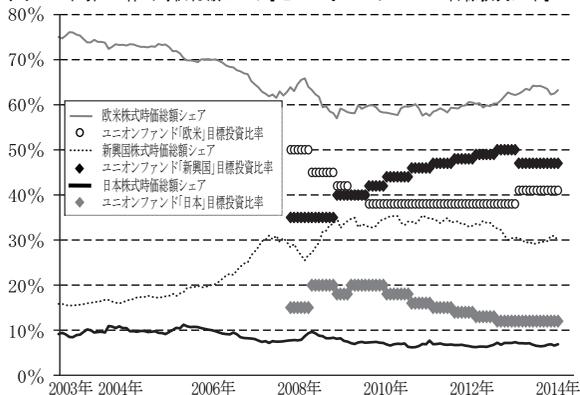


図1 世界の「株式時価総額シェア」とユニオンファンドの「目標投資比率」



(出所)「株式時価総額シェア」：ユニオン投信株式会社調べ

図2 組入ファンドの基準価額推移(2008.10.20=10,000)

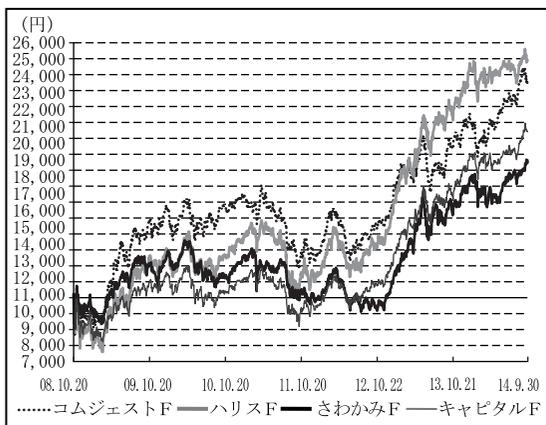


図4 組入ファンドの組入比率推移

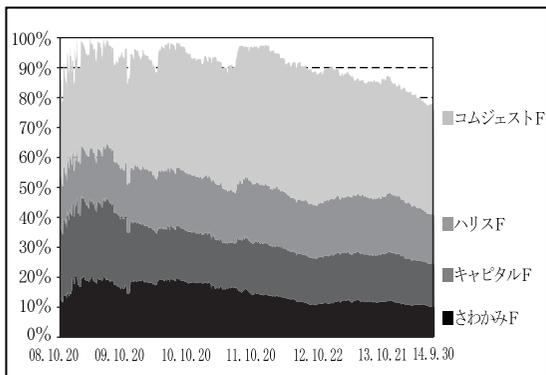


表1 組入ファンドと組入比率 (2014年9月30日現在)

組入ファンド	地域	組入比率	目標投資比率	目標比
さわかみF	日本	10.4%	12%	-1.6%
キャピタルF	欧米	14.2%	18%	-3.8%
ハリスF	欧米	16.2%	23%	-6.8%
コムジエストF	新興国	35.1%	47%	-11.9%
キャッシュ	—	24.2%	—	—
合計		100%	100%	

図3 組入ファンドの相対パフォーマンス(インデックスとの比較)



図5 ユニオンファンドの組入比率と基準価額推移

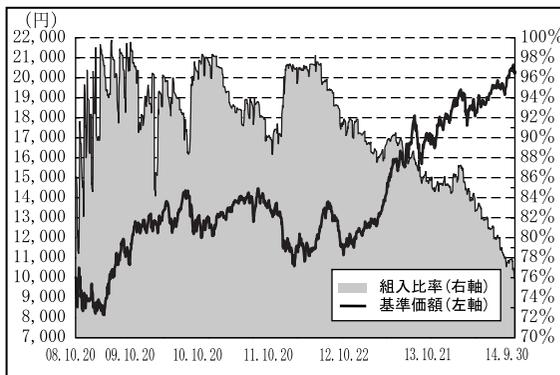
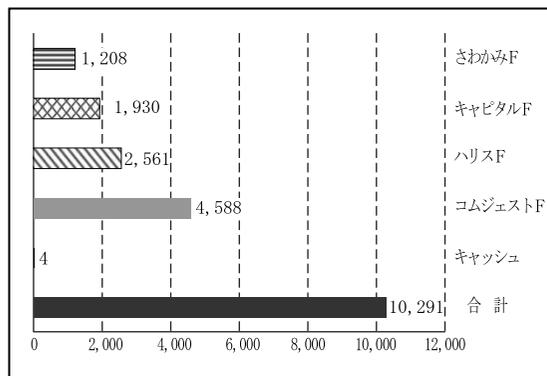


図6 組入ファンドの基準価額への累積寄与額(円、概算値)



- ・キャピタルFは、キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスAの略称です。
- ・ハリスFは、ALAMCO ハリス グローバル バリューストックファンド2007の略称です。
- ・コムジェストFは、ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSAの略称です。

## ■今後の運用方針について

次のような方針で臨みます。

- ① 引き続き「グローバル」な視点で投資していきます。  
マクロ要因を的確に分析・予測し、世界各地域への投資配分を柔軟に変更・対応していきます。
- ② 当面、現在の組入れ4ファンドに投資していきますが、他の組入候補ファンドにも目配りをしていきます。
- ③ 組入比率については、引き続き柔軟に対応していきます。

## ■分配金について

当ファンドの基準価額は決算日現在で20,291円(1万口当たり)でしたが、分配を行わないことが今後の安定的な運用につながると判断し、第6期は無分配とさせていただきます。

(分配原資の内訳) (単位:円、1万口当たり・税引前)

	当期
当期分配金	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	10,291

(注)金額は円未満切捨てで表記しております。

## ■直接販売状況

当期末の全口座件数は2,191件（前期末比+28.3%、内法人2件）になりました。また、「定期定額購入サービス」ご利用のお客様件数は全体の77.6%にあたる1,701件（前期末比+32.6%）になりました。

当期中は、2013年12月に設定以来初めて資金流出が資金流入を上回りました。しかし、12月以外はお客様からの資金流入は順調に推移いたしました。当期末は、資金流入と基準価額上昇があいまってユニオンファンドは純資産総額を約29.2億円まで伸ばすことができました（前期末比+約7.3億円）。

「新規口座開設」、及び「定期定額購入申込」の年代別前期末比較は次のとおりです。

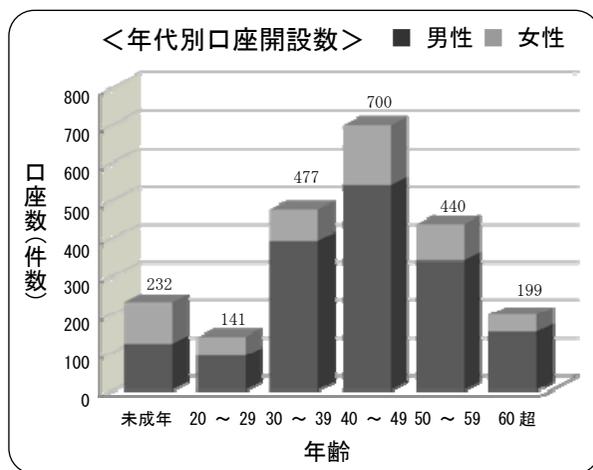
新規口座開設（前期末比）				定期定額購入（前期末比）			
未成年	+22.8%	40歳代	+25.9%	未成年	+29.5%	40歳代	+31.3%
20歳代	+41.0%	50歳代	+36.2%	20歳代	+39.1%	50歳代	+36.4%
30歳代	+22.9%	60歳超	+33.6%	30歳代	+26.0%	60歳超	+58.1%

当期の特徴は、50歳代と60歳超の「新規口座開設」と「定期定額購入サービス」のご利用率が高かったことです。また、前期に続き未成年と20歳代の「新規口座開設」と「定期定額購入サービス」のご利用率も大きく上昇しました。

50歳代と60歳超のご利用率上昇は、セミナーや個別相談を通じユニオンファンドへのご理解を深めていただき、資産運用の重要性にお気づきいただいた表れではないかと思えます。投資信託のメリットを活かし“お金にも働いてもらう”ことによって世界の経済成長を取り込むことが資産運用では重要です。定期定額購入サービスの利用率が高いのも、「少しずつ、無理なく投資をすることができる」ことへの理解が浸透した結果と考えています。

一方、未成年と20歳代のご利用率上昇は、国や企業だけに頼るのではなく、将来を見据えて早めに資産形成に向けての行動をとることの重要性をご理解されている結果だと思えます。

「定期定額購入サービス」は当期末も高いご利用率を維持しております。20歳代から60歳未満では「定期定額購入サービス」ご利用者全体の81.6%にあたる1,388名様にご利用いただいております。60歳代でも5.8%にあたる98名様が「定期定額購入サービス」による資産運用を

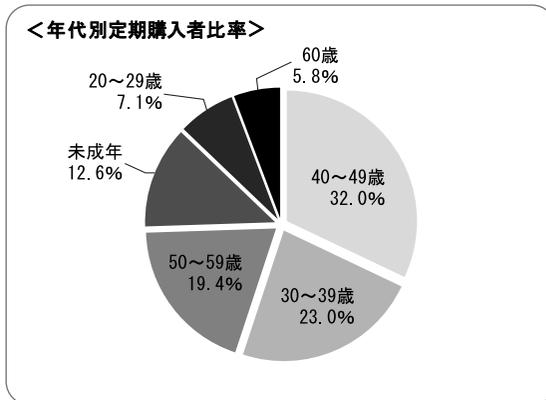


ご継続されており、必要な際には一部解約でご対応されている例もございます。  
年代別平均引落金額は次のとおりです。

年代別引落額平均（月次）		（単位：円）	
未成年	9,800	40歳代	23,470
20歳代	16,339	50歳代	31,527
30歳代	20,819	60歳超	47,194

※増額月は含んでいません。

当期中には消費税が8%に変更となり家計支出が増えたため、私たちの生活に大きな影響を与えました。国の財政が大変厳しい中、私たちは負担増に備えなければなりません。将来を見据え、老後の生活に備える長期投資は今後ますます重要となります。



当社は非営利団体である労働組合によって設立された、他に例を見ない特徴がある資産運用会社です。当社は“働く仲間とその家族の資産づくり”をお手伝いし、老後生活を心豊かに送っていただきたいと願っています。そのために、当社は主にセミナーや個別相談等の“フェイス トゥ フェイス”の活動を中心に長期投資の有効性、投資信託の良さ、株式に特化しグローバルに投資する利点をご説明いたしております。当社の運用哲学にご賛同いただいたお客様は順調に増加し続けております。

「ユニオンファンド」は、主に個人家計の資産形成をお手伝いすることを主眼としています。当社はこれからもお客様と共に“長期投資の道”を歩み、“働く仲間とその家族の資産づくり”に邁進して参ります。

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細（自2013年10月1日 至 2014年9月30日）

項 目	金 額
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託銀行）	161円 (101) ( 54) ( 6)
(b) 保管費用等	0
合 計	161

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(注) 消費税は報告日の税率を採用しております。

(b) 保管費用等は目論見書等の法定資料作成交付にかかる費用および監査費用などです。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 当期中の売買および取引の状況

● 投資信託受益証券・投資証券（自2013年10月1日 至 2014年9月30日）

銘 柄	買 付		売 付	
	口 数	金 額 (円)	口 数	金 額 (円)
キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド (LUX) クラス A	0	0	0	0
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA	0	0	0	0
ALAMCO ハリス グローバルバリュース株ファンド 2007	41,651,082	49,002,497	0	0
さわかみファンド	0	0	0	0

(注1) 金額は受け渡し代金です。また単位未満は切り捨てです。

(注2) ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007から分配金が出され、全額再投資となりました。

■ 利害関係人との取引状況等（自2013年10月1日 至 2014年9月30日）

期中における当ファンドにかかる利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■ 第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

当期は自社設定分を一部処分いたしました。

■ 自社による当ファンドの設定・解約状況（自2013年10月1日 至 2014年9月30日）

期首残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 元 本	取引の理由
千円 82,169	千円 -	千円 30,000	千円 60,990	自社財産の運用を目的とした一部処分

■ 組入資産の明細

● ファンド・オブ・ファンズが組入れた投資対象ファンドの明細

投資資産 の 種 類	銘 柄	当 期 末 (2014年9月30日)		
		口 数	評 価 額 (円)	組入比率 (%)
投資証券	キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド (LUX) クラスA	158,605	415,229,801	14.2
投資信託 受益証券	ニッポンコムジェスト・ エマージングマーケッツ・ ファンドSA	711,485,808	1,026,531,723	35.1
	ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007	391,668,920	472,744,386	16.2
	さわかみファンド	158,565,897	303,701,262	10.4
合計		1,261,879,230	2,218,207,172	75.8
銘柄数				4銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。組入比率は四捨五入してあります。

(注2) 単位未満は切り捨てです。

■ 投資信託財産の構成

項 目	当 期 末 (2014年9月30日)	
	評 価 額 (円)	比 率 (%)
投 資 信 託 受 益 証 券	1,802,977,371	61.4
投 資 証 券	415,229,801	14.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 、 そ の 他	719,351,749	24.5
投 資 信 託 財 産 総 額	2,937,558,921	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨てです。比率は四捨五入してあります。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末 (2014年9月30日現在)
(A) 資 産	2,937,558,921円
コール・ローン等	719,351,749
投資信託・投資証券(評価額)	2,218,207,172
(B) 負 債	11,397,887
未払信託報酬等	11,397,897
(C) 純資産総額(A-B)	2,926,161,034
元 本	1,442,123,542
次期繰越損益金	1,484,037,492
(D) 受 益 権 総 口 数	1,442,123,542口
1 万口当たり基準価額(C/D)	20,291円

■損益の状況

項 目	当 期 自2013年10月 1日 至2014年 9月30日
(A) 配 当 等 収 益	48,320,690円
受 取 配 当 金	48,216,152
受 取 利 息	104,538
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	283,805,585
売 買 益	294,690,108
売 買 損	△ 10,884,523
(C) 信 託 報 酬 等	△ 20,991,697
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	311,134,578
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	582,584,648
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	590,318,266
( 配 当 等 相 当 額 )	( 470,528,464)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 119,789,802)
(G) 計 (D+E+F)	1,484,037,492
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	1,484,037,492
追 加 信 託 差 損 益 金	590,318,266
( 配 当 等 相 当 額 )	( 470,528,464)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 119,789,802)
分 配 準 備 積 立 金	893,719,226
繰 越 損 益 金	0

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記> (本書作成時点では監査未了です)

## ■お知らせ

2014年9月26日付で、指定投資信託証券「キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドクラスA」が「キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド（LUX）クラスA」に名称変更したことに伴い、所要の約款付表の変更を行いました。

### 復興特別所得税について

2014年1月1日から普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに住民税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

なお、復興特別所得税に係る記載がされた目論見書の再交付をご希望される受益者の方につきましては、お申し出頂ければ再度送付させていただきますので、その旨を販売会社までお申し出下さい。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

## (参考資料)

### ■指定投資信託証券の運用内容

#### 1 《キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド (LUX) クラスA (ルクセンブルグ籍円建外国投資法人) 》

(半期決算日：2014年6月30日) 計算期間：2014年1月1日～2014年6月30日

※当運用報告書作成日現在、公表されている決算報告書は2014年6月末の半期決算報告書であり、その報告書からの抜粋となります。

#### ◇国別構成比率

As at 30 June 2014	%
United States	49.2
Switzerland	6.9
France	6.5
United Kingdom	5.6
Japan	5.5
Netherlands	4.1
Canada	3.5
Hong Kong	2.9
Other	13.3
Cash and Equivalents	2.4
<b>Total</b>	<b>100.0</b>

#### ◇資産、負債、元本及び純資産の状況

As at 30 June 2014	
<b>Assets</b>	
Investments at market value	€817,708,163
Cash at bank	17,972,121
Dividend and interest receivable (net of withholding taxes)	1,896,555
Receivable for investments sold	1,226,841
Receivable for fund shares subscribed	3,455
Prepaid expenses and other receivables	466,486
Unrealised gain on hedged share class forward foreign exchange contracts	90,786
Unrealised gain on forward foreign exchange contracts	—
Receivable on closed forward foreign exchange contracts	—
<b>Total assets</b>	<b>839,364,407</b>
<b>Liabilities</b>	
Payable for investments purchased	1,197,610
Payable for fund shares redeemed	134,321
Accrued expenses and other payables	399,442
Management fee payable	143,990
Unrealised loss on hedged share class forward foreign exchange contracts	—
Payable on closed forward foreign exchange contracts	—
Unrealised loss on forward foreign exchange contracts	—
<b>Total liabilities</b>	<b>1,875,363</b>
<b>Total net assets</b>	<b>€837,489,044</b>
<b>Investment securities at cost</b>	<b>€674,899,504</b>

## ◇損益の状況

For the period ended 30 June 2014

<b>Income</b>	
Dividend income (net of withholding taxes)	€8,306,803
Interest on bonds and convertible bonds (net of withholding taxes)	—
Interest on bank accounts and time deposits	367
Other income	1,189,025
	<b>9,496,195</b>
<b>Expenses</b>	
Management fees	692,879
Administrative Manager services	172,424
Professional services	232,805
Taxe d'abonnement	56,546
Custody	65,477
Other	52,899
Printing and publishing	49,802
	<b>1,322,832</b>
Reimbursement of expenses	51,849
<b>Net investment income/(loss) (a)</b>	<b>8,225,212</b>
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	28,867,369
Foreign currency transactions	(587,901)
<b>Net realised profit/(loss) for the period (b)</b>	<b>28,279,468</b>
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:	
Investments	3,217,476
Foreign currency transactions	92,299
<b>Net change in unrealised appreciation/ (depreciation) for the period (c)</b>	<b>3,309,775</b>
<b>Result of operations for the period (a+b+c)</b>	<b>39,814,455</b>
<b>Dividend distribution</b>	<b>(84,137)</b>
Net subscriptions/(redemptions) of shares for the period	20,111,562
Total net assets at the beginning of the period	777,647,164
<b>Total net assets at the end of the period</b>	<b>€837,489,044</b>

2 《ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA（適格機関投資家限定）》  
第6期（決算日：2013年12月25日）計算期間：2012年12月26日～2013年12月25日

■1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

項 目	金 額
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託銀行）	118円 ( 71) ( 35) ( 12)
(b) 売買委託手数料 （株 式）	17 ( 17)
(c) 有価証券取引税 （株 式）	3 ( 3)
(d) 保管費用等	26
合 計	164

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(注) 消費税は報告日の税率を採用しております。

(b) 売買委託手数料、(c)有価証券取引税、(d)保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

■組入資産の明細

◎親投資信託残高（2013年12月25日現在）

項 目	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ニッポンコムジェスト・エマージング マーケット マザーファンド	千口 3,000,391	千口 3,028,977	千円 4,148,789

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

■損益の状況（自 2012年12月26日 至 2013年12月25日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 收 益	2,391円
受 取 利 息	2,391
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,075,674,824
売 買 益	1,104,151,901
売 買 損	△ 28,477,077
(C) 信 託 報 酬 等	△ 38,443,473
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	1,037,233,742
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	241,706,457
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金 ( 配 当 等 相 当 額 )	△334,417,955 ( 281,387,008)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△615,804,963)
(G) 計 (D+E+F)	944,522,244
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	944,522,244
追 加 信 託 差 損 益 金 ( 配 当 等 相 当 額 )	△334,417,955 ( 281,803,463)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△616,221,418)
分 配 準 備 積 立 金	1,278,940,199
繰 越 損 益 金	—

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(69,481,438円)、費用控除後の有価証券等損益額(924,051,991円)、信託約款に規定する収益調整金(281,803,463円)および分配準備積立金(285,406,770円)より分配対象収益は1,560,743,662円(10,000口当たり4,869円)ですが、当期に分配した金額はありません。

当ファンドが主要投資対象としているニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンドは、外貨建て資産の運用の指図権限をコムジェスト・エス・エーに委託しております。その費用として、委託者報酬のうち、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っております。

■ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド 組入状況 (2013年12月25日現在)  
組入上位10銘柄

順位	銘柄名	M S C I 業 種 分 類	国 名	組入比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	情報技術	台湾	4.9%
2	CHINA MOBILE LTD	電気通信サービス	中国	4.5%
3	CHINA LIFE INSURANCE	金融	中国	4.1%
4	BAIDU INC ADR	情報技術	中国	3.8%
5	YANDEX NV-A	情報技術	ロシア	3.3%
6	PING AN INSURANCE	金融	中国	3.0%
7	TENARIS SA-ADR	エネルギー	アルゼンチン	3.0%
8	CIELO SA	情報技術	ブラジル	2.9%
9	NATURA COSMETICOS SA	生活必需品	ブラジル	2.9%
10	SAMSUNG LIFE INSURANCE	金融	韓国	2.8%

(注) 国の別はコムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

## 業種別構成比率

MSC I 業種分類	構成比率
情報技術	22.3%
生活必需品	20.5%
金融	12.8%
一般消費財・サービス	12.3%
資本財・サービス	10.1%
電気通信サービス	8.2%
エネルギー	5.7%
公益事業	3.1%
ヘルスケア	2.1%
合計	97.0%

## 国別構成比率

国名	構成比率
中国	18.7%
ブラジル	17.9%
南アフリカ	7.7%
台湾	7.3%
インド	6.5%
韓国	5.5%
ロシア	5.4%
メキシコ	5.2%
香港	5.0%
アルゼンチン	3.0%
チリ	2.7%
オランダ	2.4%
イギリス	2.0%
スイス	1.9%
マレーシア	1.8%
トルコ	1.6%
ウクライナ	1.3%
アメリカ	1.1%
合計	97.0%

(注) 国の別はコムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

### 3 《ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007（適格機関投資家専用）》

第7期（決算日：2014年3月10日） 計算期間：2013年3月12日～2014年3月10日

#### ■1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細（2013年3月12日～2014年3月10日）

項 目	金 額
(a) 信 託 報 酬 （ 投 信 会 社 ） （ 販 売 会 社 ） （ 受 託 銀 行 ）	159円 (122) ( 27) ( 10)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 （ 株 式 ）	6 ( 6)
(c) 有 価 証 券 取 引 税 （ 株 式 ）	5 ( 5)
(d) 保 管 費 用 等	6
合 計	176

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。(各項目ごとに円未満は四捨五入) なお、売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みません。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(注) 消費税は報告日の税率を採用しております。

(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数。

(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数

(d) 保管費用等＝期中の保管費用等÷期中の平均受益権口数

#### ■組入資産の明細

◎親投資信託残高（2014年3月10日現在）

種 類	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ALAMCO ハリス グローバル バリュース株 マザーファンド	千口 3,872,688	千口 1,576,520	千円 2,267,509

(注) 単位未満は切り捨て。

■損益の状況（自 2013年3月12日 至 2014年3月10日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	10,193円
受 取 利 息	10,193
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	494,535,237
売 買 益	782,878,511
売 買 損	△ 288,343,274
(C) 信 託 報 酬 等	△ 30,804,208
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	463,741,222
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	280,475,450
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 132,235,523
（ 配 当 等 相 当 額 ）	（ 240,776,351）
（ 売 買 損 益 相 当 額 ）	（△ 373,011,874）
(G) 計 ( D + E + F )	611,981,149
(H) 収 益 分 配 金	△ 270,697,703
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	341,283,446
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 132,235,523
（ 配 当 等 相 当 額 ）	（ 241,382,689）
（ 売 買 損 益 相 当 額 ）	（△ 373,618,212）
分 配 準 備 積 立 金	473,518,969

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託する場合における当該委託に要する費用は14,471,690円となります。

(注5) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(33,363,413円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(430,377,809円)、信託約款に規定する収益調整金(241,382,689円)および分配準備積立金(280,475,450円)より分配可能額は985,599,361円(1万口当たり5,097円)であり、うち270,697,703円(1万口当たり1,400円)を分配金額としています。

■ALAMCO ハリス グローバル バリューストックファンド 組入状況（2014年3月10日現在）

組入上位10銘柄

順位	銘柄名	組入比率
1	JULIUS BAER GROUP	4.3%
2	CREDIT SUISSE	4.3%
3	CNH INDUSTRIAL	3.9%
4	ALLIANZ SE	3.7%
5	GENERAL MOTORS	3.7%
6	KERING	3.6%
7	WELLS FARGO	3.6%
8	APPLIED MATERIALS	3.6%
9	TESCO	3.5%
10	HOLCIM LTD	3.5%

組入上位10業種

順位	業 種 名	組入比率
1	各種金融	14.6%
2	食品・飲料・タバコ	8.9%
3	保険	8.8%
4	ソフトウェア・サービス	7.7%
5	自動車・自動車部品	7.0%
6	銀行	6.8%
7	半導体・半導体製造装置	6.6%
8	耐久消費財・アパレル	6.5%
9	素材	4.9%
10	商業・専門サービス	4.6%

(注) 組入比率は純資産総額に対する比率、業種はGICS（世界産業分類基準）に基づく24産業グループです。

#### 4 《さわかみファンド》

第15期（決算日：2014年8月25日）計算期間：2013年8月24日～2014年8月25日

##### ■ 1万口（元本 10,000 円）当たりの費用明細

項 目	金 額
(a) 信 託 報 酬 （ 投 信 会 社 ） （ 販 売 会 社 ） （ 受 託 銀 行 ）	183円 (101) ( 64) ( 18)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 （ 株 式 ）	1 ( 1)
(c) 保 管 費 用 等	0
合 計	184

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率  
(注) 消費税は報告日の税率を採用しております。

(b) 売買委託手数料、(c) 保管費用等は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

##### ■組入資産の明細

株式組入上位10銘柄（2014年8月25日現在）

順位	銘柄コード	銘柄名	業種名	組入比率 (%)
1	7203	トヨタ自動車	輸送用機器	5.13
2	5108	ブリヂストン	ゴム製品	4.43
3	1605	国際石油開発帝石	鉱業	3.08
4	4452	花王	化学	3.02
5	5334	日本特殊陶業	ガラス・土石製品	2.95
6	7011	三菱重工業	機械	2.72
7	6367	ダイキン工業	機械	2.70
8	6902	デンソー	輸送用機器	2.47
9	6594	日本電産	電気機器	2.45
10	6752	パナソニック	電気機器	2.08

(注) 比率は8月25日現在における純資産総額比です。

■損益の状況（自 2013年8月24日 至 2014年8月25日）

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	4,717,262,891円
受 取 配 当 金	4,710,790,785
受 取 利 息	1,890,009
そ の 他 収 益 金	4,582,097
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	45,536,246,646
売 買 益	53,313,715,039
売 買 損	△7,777,468,393
(C)信 託 報 酬 等	△3,137,084,684
(D)当 期 損 益 金 ( A + B + C )	47,116,424,853
(E)前 期 繰 越 損 益 金	29,019,362,913
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	60,372,067,368
( 配 当 等 相 当 額 )	( 101,916,715,797)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△41,544,648,429)
(G) 合 計 ( D + E + F )	136,507,855,134
(H)収 益 分 配 金	—
次 期 繰 越 損 益 金 ( G + H )	136,507,855,134
追 加 信 託 差 損 益 金	60,372,067,368
( 配 当 等 相 当 額 )	( 101,916,715,797)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△41,544,648,429)
分 配 準 備 積 立 金	76,135,787,766
繰 越 損 益 金	0

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。